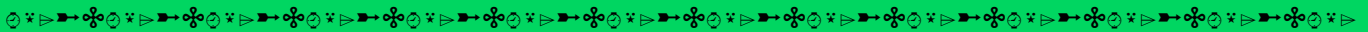




2014年6月18日

みなさん、こんにちは。

今回の「博物館だより」は、現在開催中の展覧会「生誕 100 年 池内艸舟/没後 10 年 山口南艸展—かな書の心を紡いで—」の関連イベント「書道ワークショップ(美しいかなを書く)・(墨であそぼう)」の様子についてお伝え致します。



### 書道ワークショップ



6月14日(土)に書道ワークショップを開催しました。第1部は一般の方を対象にしたワークショップ「美しいかなを書く」で講師は倉橋奇艸氏(草心会副理事長)です。「美しいかなを書く」では、参加者がそれぞれ持参した“墨をする”ところからスタート。その後、書道で大切な道具とは何かというお話(文房四宝)や、書道が中国から伝わったことに関連して中国語のクイズなどがあり、穏やかな



雰囲気の中で始まりました。参加者の墨のすり方をみて、「墨をするのは病気の娘さんが一番いいといわれるほどで、力を入れずにすって欲しい」、「墨というのは年代物であればあるだけ良い、そしてすった後に水分を拭いてあげないと、いくら高価な墨でもすったあとの色が割れてしまうので、墨は大事に使ってほしい」とのアドバイスがありました。



書き終われば、一人ずつ完成した作品の講評をじっくりと受け、倉橋氏からの指導を参考に何度も半紙に向かって練習し、美しいかなを書くのに集中。参加者はゆったりとした時間を過ごしていました。



第2部は小・中学生を対象にした「墨であそぼう」で講師は上田和草氏、長谷川艸苑氏、和田葉山氏の3名(草心会)です。「墨であそぼう」では、型にとらわれず自由に書くことをテーマに、筆以外のものも使用。割りばしや段ボールの切れ端なども使います。また、半紙だけでなく用意された色や形が



様々な和紙等を使用し、まずは全員が自分の名前を書いていきました。翌日が父の日(15日)だったこともあり、お父さんに向けた感謝の言葉を書いている子も多くいました。また、大きな紙を利用し兄弟や友達との合作を仕上げる子や、上手に絵を描いている子も。先生方の優しく丁寧な指導に、子どもたちも楽しく書道に親しめたようです。



～現在開催中 展覧会案内～

明石市制 95 周年記念 企画展・郷土作家シリーズ

「生誕 100 年 池内艸舟/没後 10 年 山口南艸展—かな書の心を紡いで—」

開催期間：～7月6日(日)まで※月曜休館

観覧料：大人 200 円、大高生 150 円、中学生以下無料



詳しい展覧会情報は

当館HPをご覧ください。

<http://www.akashibunpaku.com>

次回の「博物館だより」をお楽しみに。